

令和2年度4月1日採用 赤平市保育士及び 幼稚園教諭募集



【職種及び募集人員】

保育士及び幼稚園教諭…若干名

【応募資格・試験区分】

- 昭和59年4月2日以降に生まれ、保育士資格及び幼稚園教諭免許の両方を有する方。
- 令和2年3月31日までに卒業見込みで、保育士資格及び幼稚園教諭免許の両方を取得見込みの方。
- 本市職員となった場合、市内に居住できる方。

【第一次試験】

日時 10月20日(日)午前9時受付
試験時間9時45分～14時(予定)

会場 市役所会議室(泉町4丁目1番地)

内容 専門試験・小論文・職場適性検査など

結果 11月上旬(予定)に文書で通知します。

※第二次(面接)試験は11月下旬を予定しています。(結果通知は12月中旬の予定)

【受験の手続き】

受付期間 8月1日(木)～9月17日(火)
平日8時30分～17時(祝日を除く)

※申込書の提出は、代理人または郵送でも可能。
郵送の場合は9月17日(火)必着。

【提出書類】

- 赤平市が交付する受験願書及び履歴書(受験者本人が手書きのこと)
 - 最終学歴校の卒業(または見込み)証明書及び成績証明書
 - 免許・資格の写し(または取得見込証明書)
 - 84円分の切手・長形3号封筒(受験者の住所及び氏名の記載したもの)
- ※書類不備の場合は、受付できません。写しはA4判の大きさに調整すること。

【受験できない方】

- 成年被後見人及び被保佐人。
- 禁固以上の刑に処され、その執行を終えるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの方。
- 日本国憲法において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した方。

※8月20日(火)まで一般事務職、土木・建築技術職、ダム管理主任技術職も募集中。詳細は7月号広報をご確認ください。



申込み・問合せ先

〒079-1192
赤平市泉町4丁目1番地
赤平市役所総務課職員係
☎32-2211



やま あか 観覧無料 雨天顺延 炭鉱の灯り2019 in 赤平

炭鉱遺産の周りでキャンドルを灯し、想いを馳せながらゆっくりと時を過ごす静かなイベントです。キャンドル設置のお手伝いも参加できますので、ぜひご参集ください。

日時 8月10日(土)
18時30分～20時30分(キャンドル設置17時～)

会場 赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設および旧住友赤平炭鉱立坑櫓周辺

主催 NPO法人 炭鉱の記憶推進事業団

協力 赤平コミュニティガイドクラブ TANTan

問合せ そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター
☎0126-24-9901



※キャンドルの設置作業のお手伝いをしていただける方は、17時にお集まりください。
※当日、赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設は特別に20時30分まで開館しています。

日本遺産に認定された「本邦国策を北海道に観よ！～北の産業革命 炭鉄港～」のストーリー。先月号に引き続き、赤平の「炭鉄港」について紹介します。

赤平市内の構成文化財

日本遺産「炭鉄港」は、空知・胆振・後志の3つの振興局管内にまたがり、参画する8市4町(※)の中に45件もの構成文化財が含まれるという大きな広がりをもっています。赤平市内では以下の3件の構成文化財が認定されています。

(※赤平市、小樽市、室蘭市、夕張市、岩見沢市、美瑛市、芦別市、三笠市、栗山町、月形町、沼田町、安平町)

空知川露頭炭層

1857(安政4)年に松浦武四郎が発見し、その後の空知炭田開発の始まりとなったとされる石炭層の露頭。1873(明治6)年、開拓使の榎本武揚らは幌内・三笠一帯の炭層を調査した後、石狩川本流を遡って空知太に達し、さらに空知川を遡上しながら沿岸一帯を調査。赤平付近で炭層を発見し分析のために石炭を持ち帰った。1874(明治7)年、開拓使に雇われた米国人地質鉱山学者ライマンらは空知川を遡って地質調査をし、赤平周辺で石炭の大露頭を確認した。

北炭赤間炭鉱ズリ山

1938(昭和13)年に開坑した北炭赤間炭鉱のズリ山で、1973(昭和48)まで稼働していた。標高197.65m、平均斜度18度。ズリ山山頂がJR赤平駅から直線距離で600mと市街地に近く、地域のランドマークになっている。1990(平成2)年に階段と火文字を設置し、火文字は夏のあかびら火まつりのクライマックスとして点火される。ズリ山階段の階段数(直線部分777段)では、長崎県佐世保市世知原町・ボタ山健康階段(555段)、北海道岩見沢市栗沢町・万字炭山森林公園(階段の直線部775段)を抜いて日本一。

住友赤平炭鉱立坑櫓および周辺施設

1963(昭和38)年に建設された立坑櫓で、1994(平成6)年の閉山時まで使用されていた。櫓高43.8m、深度650mで、2セット4台の4段デッキケージ(18名×4段)、年間揚炭能力…140万t。マイナス350L以深の深部開発のため総費用約20億円をかけ建設され、同タイプの住友奔別立坑(1960年)の改良点が反映されている。1994(平成6)年の閉山後も、建屋や機械、電気設備などが極めて良好な状態で残されており、地域のランドマークとなっている。

◆立坑櫓の内部をガイド付きで見学できるのは赤平だけです。ぜひお越しください。

問合せ 赤平市炭鉱遺産ガイドンス施設 ☎74-6505

炭鉄港

日本遺産を知る



空知川露頭炭層



北炭赤間炭鉱ズリ山



住友赤平炭鉱立坑櫓